

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、下記の検査項目につきまして、検査の内容を変更させていただくことになりましたのでご案内申し上げます。

先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具

(記)

【項目名】： 活性型レニン定量/CLEIA

アルドステロン/CLEIA-血漿 (※今回の変更より血漿検体にて統一されます)

PAC/PRA(アルドステロン・レニン活性比)

PAC/ARC(アルドステロン・活性型レニン定量比)

【変更日】： 2021年3月8日(月)受付分より

【変更内容】

コード	検査項目名	変更箇所	(新)	(現行)
2449	レニン定量/CLEIA	検査項目名	レニン定量/CLEIA	活性型レニン定量
		検体量	血漿 0.5mL	血漿 0.7mL
		検査方法	CLEIA法	IRMA法(RIA・固相法)
		基準値単位	2.21~39.49pg/mL	臥位 : 2.5~21.4pg/mL 立位 : 3.6~63.7pg/mL
		報告範囲	0.20未満~1000000以上	2.4以下~最終値
		報告桁数	少数第2位	少数第1位
		備考	早朝15分以上座位にて安静後、指定の容器に採血してください。十分混和し速やかに遠心、血漿分離してください。報告値が10000.00以上となる場合は、別紙報告となりますのでご了承ください。	早朝安静状態で採血。 ヘパリン血漿不可、速やかに冷却遠心、血漿分離してください。

【参考文献】

佐藤文俊, 他 : 医学と薬学 76, 1827-1832, 2019.

コード	検査項目名	変更箇所	(新)	(現行)
441	アルドステロンCLEIA	検査項目名	アルドステロンCLEIA	アルドステロン(pg/mL単位)
		検体量	血漿 0.5mL	血清 0.6mLまたは 血漿0.6mL
		検査方法	CLEIA法	RIA・固相法
		基準値 単位	4.0～82.1pg/mL	随時:35.7～240.0 臥位:29.9～158.8 立位:38.9～306.8
		報告範囲	4.0未満～2000000.0以上	10.0以下～最終値
		備考	早朝15分以上座位にて安静後、指定の容器に採血してください。十分混和し速やかに遠心、血漿分離してください。報告値が100000.0以上となる場合は、別紙報告となりますのでご了承ください。	早朝安静状態で採血。 レニン活性、活性型レニン定量と共用する場合は、速やかに冷却遠心、血漿分離してください。

【参考文献】

佐藤文俊, 他 : 医学と薬学 76, 1819-1826, 2019.

コード	検査項目名	変更箇所	(新)	(現行)
5276	PAC/PRA (アルドステロン・ レニン活性比)	所要日数	4～5	3～4
		検査方法	計算法	RIA・固相法、EIA法
		基準値	比:200以下(カットオフ値)	アルドステロン及び レニン活性参照
		単位	PAC RIA相当値 : pg/mL 比 : なし	PAC : pg/mL PRA : ng/mL/hr PAC/PRA: なし
		報告範囲	PAC RIA相当値:(※補正式より算出) 47.0未満～2348000.0以上 比 : 1～10000000	PAC : 10.0以下～最終値 PRA : 0.2未満～450.0以上 PAC/PRA: 1～9999
		報告桁数	PAC RIA相当値 : 少数第1位 比 : 整数	PAC、PRA : 少数第1位 PAC/PRA : 整数
		備考	PAC/PRA(アルドステロン/レニン活性比)は、アルドステロンCLEIA(依頼コードNo. 441)とレニン活性(依頼コードNo. 2757)の2項目と同時にご依頼ください。 ※PAC RIA相当値の計算式 RIA相当値=アルドステロンCLEIA値×1.174+42.3 報告値が100000.0以上となる場合は、別紙報告となりますのでご了承ください。	アルドステロン及びレニン活性参照。 アルドステロン、レニン活性の各測定値も報告いたします。

コード	検査項目名	変更箇所	(新)	(現行)
3882	PAC/ARC (アルドステロン・ 活性型レニン定量比)	所要日数	4～5	3～4
		検査方法	計算法	RIA・固相法
		基準値	比：40以下(カットオフ値)	アルドステロン及び レニン定量参照
		単位	PAC RIA相当値：pg/mL 比：なし	PAC、ARC：pg/mL PAC/ARC：なし
		報告範囲	PAC RIA相当値：(※補正式より算出) 47.0未満～2348000.0以上 比：1～10000000	PAC：10.0以下～最終値 ARC：2.4以下～最終値 PAC/ARC：1～9999
		報告桁数	PAC RIA相当値：少数第1位 比：整数	PAC、ARC：少数第1位 PAC/ARC：整数
		備考	PAC/ARC(アルドステロン/活性型 レニン定量比)は、アルドステロンCL EIA(依頼コードNo. 441)と活性型 レニン定量(依頼コードNo. 2449) の2項目と同時にご依頼ください。 ※PAC RIA相当値の計算式 RIA相当値＝アルドステロンCLEIA 値×1.174+42.3 報告値が100000.0以上となる場 合は、別紙報告となりますのでご了承 ください。	アルドステロン及びレニン定量参照。 アルドステロン、レニン定量の各測定 値も報告いたします。

【変更理由】

レニンとアルドステロンは血圧調節に働く物質で、レニン-アンギオテンシン-アルドステロン系(RAA系)として知られています。

日本内分泌学会による「原発性アルドステロン症(PA)診断の手引き」では、PAスクリーニング法として、血漿アルドステロンと血漿レニン活性または活性型レニン定量を測定し、その比を目安にすることを推奨しています。

この度、アルドステロン検査および活性型レニン定量検査において、CLEIA法試薬による検査を導入し、受託を開始いたします。

今回アルドステロン検査で使用する試薬は、日本内分泌学会の公告に基づき開発された標準化対応試薬となります。

【アルドステロン・レニン比をご依頼時の注意事項】

1. アルドステロン・レニン比は「アルドステロン+レニン活性+PAC/PRA」または「アルドステロン+活性型レニン定量+PAC/ARC」の同時依頼があった場合のみ結果報告いたします。
2. アルドステロン・レニン比のPAスクリーニングカットオフ値は従来のRIA法アルドステロン値を元に設定されております。そのカットオフ値を継続して使用するために、アルドステロンCLEIA値をRIA相当値として補正したデータを使用して算出いたします。
3. アルドステロン・レニン比は、アルドステロンのRIA相当値と比の2つの結果をご報告いたします。

参考URL：http://www.j-endo.jp/modules/news/index.php?content_id=55

(日本内分泌学会：日常臨床におけるアルドステロン測定標準化に関する運用指針(第二版))